

情報通信審議会情報通信技術分科会
航空・海上無線通信委員会 地上型衛星航法補強システム作業班（第3回）
議事要旨

- 1 日時
平成 30 年 5 月 28 日（月）13 時 30 分から 14 時 30 分まで
- 2 場所
総務省 10 階第 1 会議室
- 3 出席者（敬称略、五十音順（主任を除く））
 - （1）構成員
小瀬木主任、赤木構成員、植木構成員、上田構成員、小竹構成員、金田構成員、菊池構成員、辻構成員、福島構成員、矢吹構成員
 - （2）オブザーバー
城オブザーバー
 - （3）事務局
基幹・衛星移動通信課 高地課長、金子課長補佐、服部係長、舛田主査
- 4 議事概要
 - （1）GBAS と同帯域を共用する無線通信システムとの共用条件について
 - ILS との共用条件について現在、ICAO では ILS から GBAS に向けての影響について改正案が議論している。具体的には D/U 比に関する検討が進められている。早くても結論を得られるのは 2020 年 11 月の予定である。（城オブザーバー）
 - 4 ページ目で VOR のカバー半径を例として記載されているが、マージンは含まれているのか。（小瀬木主任）
→自由空間伝搬損失を基に算出しておりマージンは含まれていない。（福島構成員）
 - ICAO における共用条件の議論の状況から、GBAS 用として想定されている周波数の全てを使用できるとは言えない。当面は、112.025MHz から 116.4MHz までは使用できると考えて良いか（小瀬木主任）
→然り。（事務局）
 - 今回提案の周波数範囲であれば V-LOW については、大きな影響はないと考えてよいか。（小瀬木主任）
→然り。（事務局）
 - （2）地上型衛星航法補強システム報告書目次案について
 - 報告書については、ICAO で示されている数字を基に作成されると考えてよいか。（小瀬木主任）
→然り。（事務局）

(3) その他

事務局から、今後の開催予定等について6月下旬を予定している旨伝えた。

<配付資料>

資料 GBAS 作3-1 GBAS と同帯域を共用する無線通信システムとの共用条件について

資料 GBAS 作3-2 地上型衛星航法補強システム (GBAS) の技術的条件報告書目次案

参考資料 GBAS 作3-1 第2回地上型衛星航法補強システム作業班議事要旨

参考資料 GBAS 作3-2 地上型衛星航法補強システム作業班構成員名簿

参考資料 GBAS 作3-3 ICAO SARPs Annex10 Vol.1 抜粋 (席上配布のみ)